

## 目標達成計画

作成日: 平成 25 年 10 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	41	毎食前の嚥下体操が出来ていない。 利用者の高齢化が進み嚥下機能低下によるむせがあり、タッピングが必要になることが目立つようになっている。誤嚥性肺炎が心配される。	食事が美味しく、安全に食べられるよう誤嚥性肺炎を予防することが出来る。	①法人の言語聴覚士に指導を受ける。 (11月初旬頃) ・現在の嚥下体操が出来ない利用者2名 →嚥下機能を評価し、個別な対応を策定する ・現在の体操を評価してもらい、利用者全員が出来るものを取り入れる。	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。